

都内で麻しんの報告が続いています

麻しんは空気感染が主たる感染経路ですが、飛沫感染、接触感染もあります。感染力は極めて強く麻しんに対する免疫を持っていない人が、感染している人に接すると、ほぼ100%の人が感染し、全て発症します。典型的には約10～12日間の潜伏期間の後、38℃程度の発熱及び風邪症状が2～4日続き、その後39℃以上の高熱とともに発しんが出現します。有効な予防法は、麻しんワクチンの接種です。麻しんの定期予防接種をまだ受けていない方は、かかりつけ医に相談し、早めに予防接種を受けましょう。

【全数把握対象疾患】

類型	報告件数	備考
1類感染症	0件	
2類感染症	結核1件	40代 男性1名
3類感染症	0件	
4類感染症	エムポックス 1件 レジオネラ症 2件	30代 男性1名 80代 男性2名
5類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件 侵襲性肺炎球菌感染症 1件 梅毒 1件	60代 男性1名 70代 男性1名 40代 男性1名

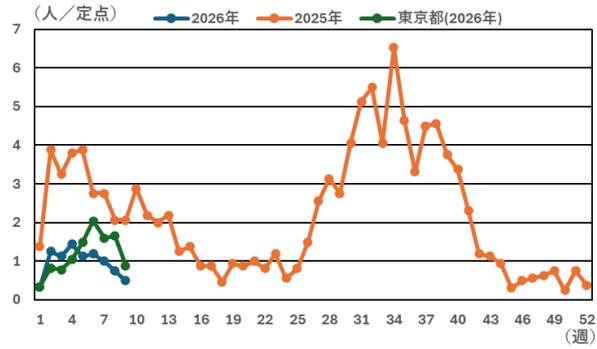
【定点把握対象疾患】

感染症	板橋区	東京都
感染性胃腸炎	定点当たり報告数 5.90 (前週 9.70 前年同週 13.70)	定点当たり報告数 7.68 (前週 10.99 前年同週 13.03)
インフルエンザ	定点当たり報告数 15.13 (前週 29.31 前年同週 1.50)	定点当たり報告数 19.18 (前週 33.41 前年同週 1.41)
新型コロナウイルス感染症	定点当たり報告数 0.50 (前週 0.75 前年同週 2.06)	定点当たり報告数 0.89 (前週 1.65 前年同週 2.76)
急性呼吸器感染症 (ARI)	定点当たり報告数 43.50 (前週 73.19)	定点当たり報告数 59.87 (前週 85.91)

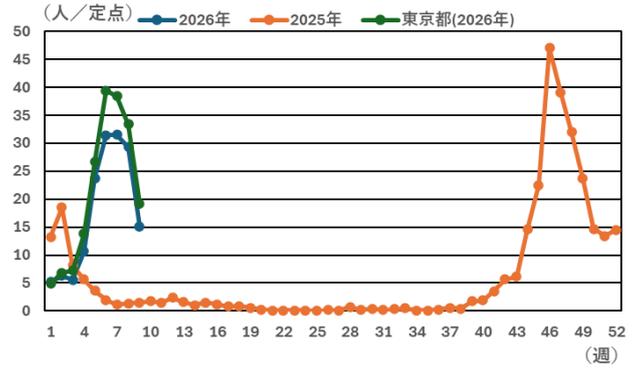
【定点把握対象疾患 推移グラフ】

週報告の定点把握対象の感染症について、定点医療機関当たりの患者報告数推移のグラフを掲載しています。

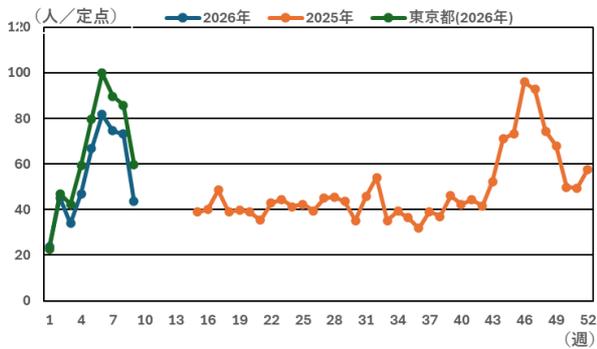
新型コロナウイルス感染症



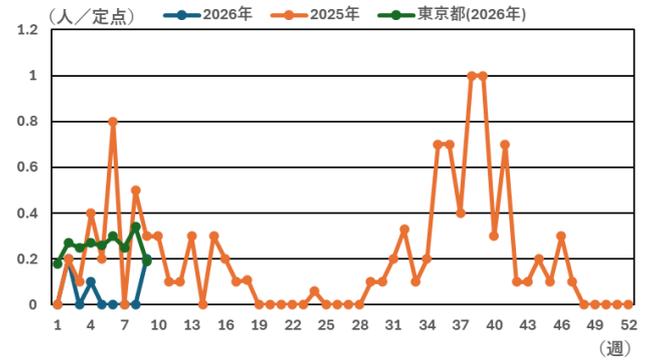
インフルエンザ



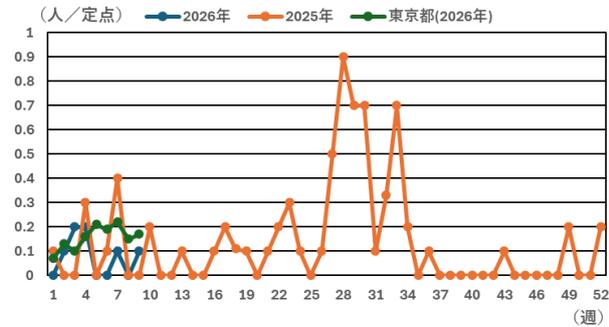
急性呼吸器感染症



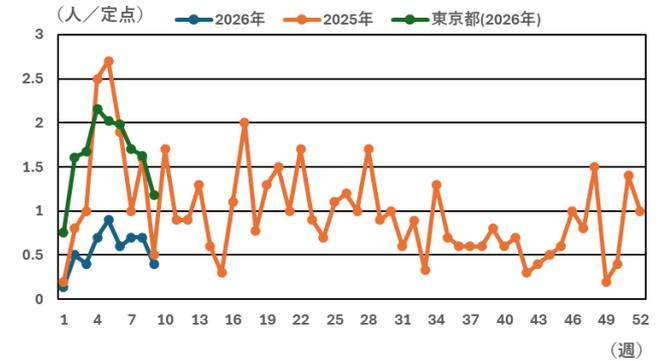
RSウイルス感染症



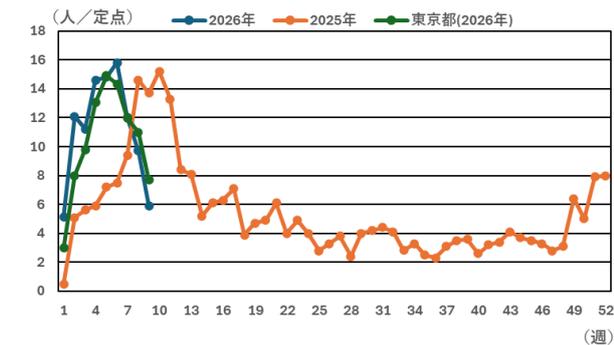
咽頭結膜熱



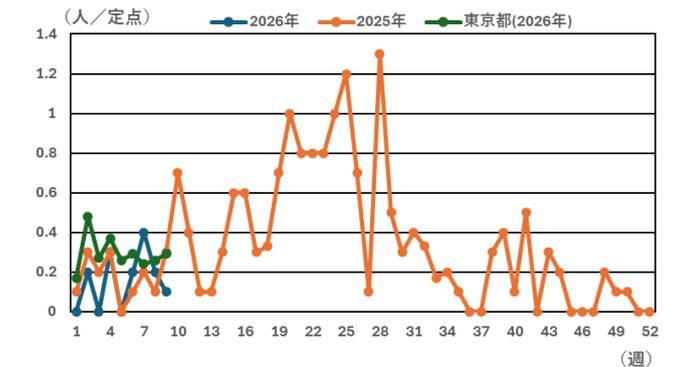
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



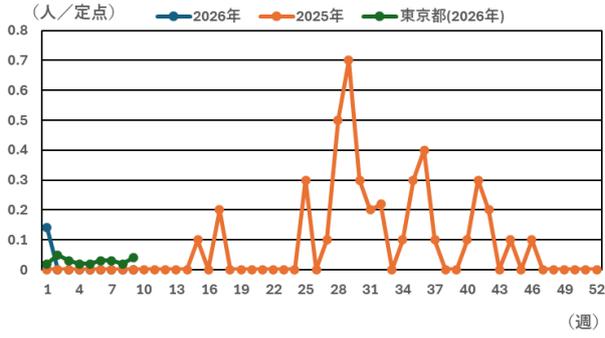
感染性胃腸炎



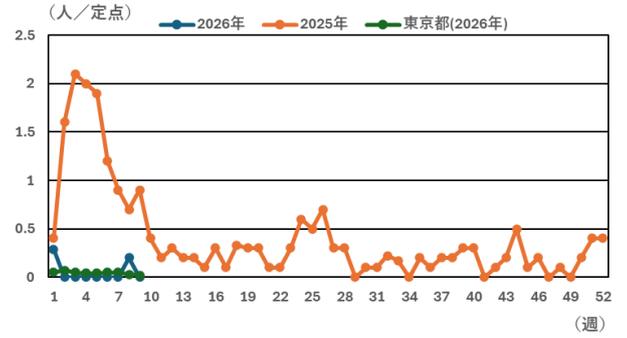
水痘



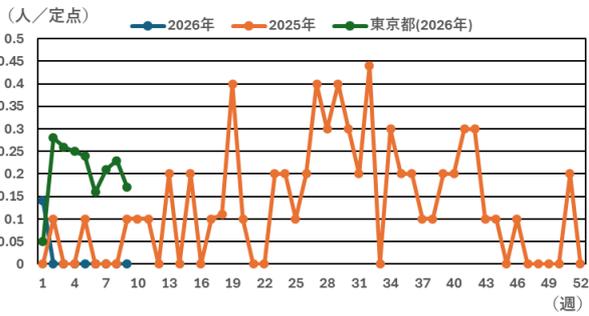
手足口病



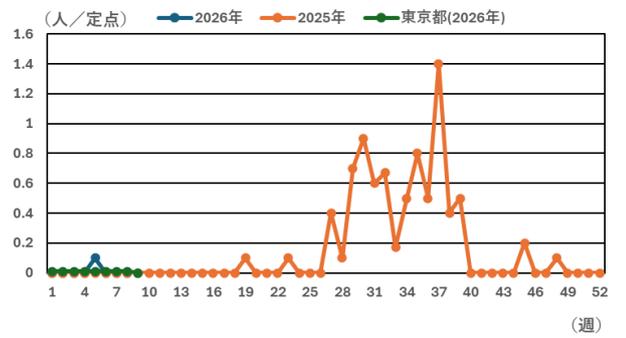
伝染性紅斑



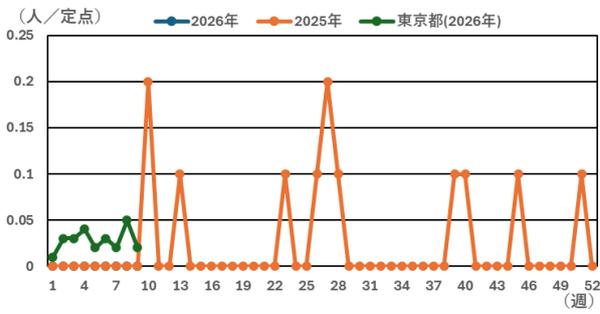
突発性発疹症



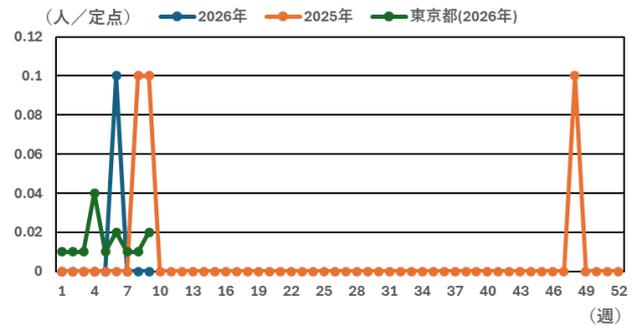
ヘルパンギーナ



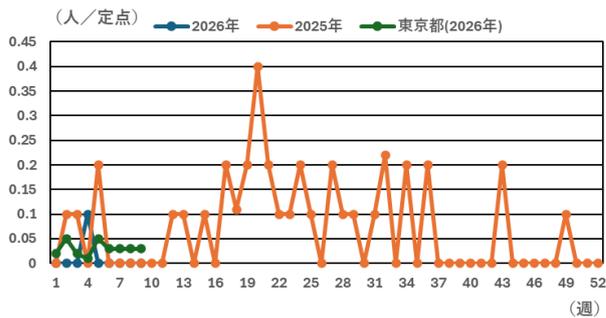
流行性耳下腺炎



川崎病



不明発しん症



【感染症集団発生状況(新規)】

インフルエンザ	5 件	保育施設 5 件
---------	-----	----------

※令和 8 年 3 月 6 日現在の情報により作成しています。

※全数把握疾患は発生届を受理した件数です。発生届は、診断した医師が最寄りの保健所（医療機関の管轄保健所）に届け出ることになっています。よって、届出数は区内患者数と一致しないことがあります。

※定点あたり報告数とは、1 週間に一つの定点（医療機関）あたり何人の患者の報告があったかを表す数値です。報告数の合計÷定点観測所数＝定点あたり報告数(人/定点)です。流行状況の把握、比較をする場合に有効です。板橋区内では、小児科定点 10 か所、内科定点 6 か所、眼科定点 2 か所、性感染症定点 2 か所、基幹定点 1 か所、疑似症単独定点 2 か所が指定届出機関（定点医療機関）として指定されています。

※令和 5 年 5 月 8 日から新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の 5 類感染症に移行しました。同日以降は本報でも定点把握疾患として掲載しています。

※令和 7 年第 15 週から定点把握対象疾患に急性呼吸器感染症（ARI）が追加されました。

板橋区保健所 予防対策課 感染症対策係